

令和7年度 第1回公立大学法人岐阜県立看護大学経営審議会 議事録

- 1 日 時 令和7年6月25日（水） 14：27～15：42
- 2 場 所 公立大学法人岐阜県立看護大学 会議室1
- 3 出席者 北山理事長、松下委員、梅津委員、青木委員、松井委員、田村委員、吉原委員、
佐藤委員
事務局 布施総務課長、清水学務課長、奥田総務担当課長補佐、
齊藤主査、神山主任、大野主事
欠席者

4 議事概要

令和6年度第5回議事録（案）について

事務局より資料1に基づき説明がなされ、案のとおり承認された。

審議事項

（1）令和7年度補正予算について

事務局より資料2に基づき説明がなされ、案のとおり承認された。

（2）令和6年度決算について

事務局より資料3、3-2、3-3に基づき説明がなされた。審議の結果、案のとおり承認された。

審議における発言は以下のとおりであった。

○学生の確保は重要で、外からは中の状況は見えにくいので、早い時期からのPRが重要であるため、中学生向けプログラムは一層の充実を図ってほしいとの意見が出された。

○構内環境の整備について職員の方の負担が過重にならないようにしていただきたく、ボランティア等を活用してはどうかとの意見が出された。

これに対し、職員の負担については、専用機材を導入するなど負担が過重にならないよう対策を講じていることが説明された。

（3）理事長選考会議委員の選出について

事務局より資料4に基づき説明がなされ、委員の選出を行った。

佐藤委員より、青木委員の推薦があり、提案のとおり選出することが承認された。

報告事項

- (1) 経営に関する令和7年度年度計画について
- (2) 大学認証評価の受審結果について
- (3) 科学研究費補助金の採択の実績について
- (4) 令和7年度入学試験結果について
- (5) 令和6年度の就職状況について
- (6) 令和6年度国家試験合格状況について

事務局より資料5、資料6、資料7、資料8、資料9に基づき報告がなされた。

○DXとは具体的にどのような状態を目指しているのか質問があり、今年度より教育、研究、業務運営の各分野で検討を始めたこと、実施は第4期中期計画期間開始時となることが説明された。

○推薦型選抜Aの倍率低下の要因について質問があり、高等学校によって進路指導の違いがあることが主な要因であることが説明された。

○私立大学が県内に増えてきたこともあり、県立看護大学について各高等学校に丁寧に説明することも必要ではないかとの意見が出され、本学から遠い圏域の高等学校に対しても積極的に働きかけを行いたい旨説明された。

○令和6年度の卒業者が71名となった理由について質問があり、退学や留年により令和6年度の卒業者は71名となったことが説明された。

○入学試験の種別によって学生の特性の違いがあるか質問があり、授業や実習等に関わるなかで大きな違いはないことが説明された。

○推薦型選抜で年内に合格した受験生は、大学入学時に一般選抜合格者と差が生まれていることが多いので、大学に推薦型選抜合格者へのフォローをしていただきたいとの意見が出された。

○大学認証評価の受審結果のうち、改善を要する事項について質問があり、なぜ改善を要する事項となったのか経緯が説明された。

5 閉 会